



激動の時代こそ高い志を

池本正純キャリアデザインセンター長に聞く

学生の積極的なキャリア形成の支援へ「キャリアデザインセンター」が誕生した。センター長に就任した池本正純経営学部教授に抱負を伺った。

「これまで、社会に出てからでよいとされていたキャリア形成教育が、大学在学中から求められています。それは『就活』時からでは遅い。入学時から全学で取り組むべき課題です」と強調する。

職業観、勤労観を身につけて職業に必要な知識、技能を習得させ、主体的に進路を選択する能力や心構えを育成する——がキャリア教育とされるが「将来、社会の一員としてより良く生きるための能力育成であり、なにも新しいことを始めるものではない。より主体的に仕事を見つめ、社会に向き合う姿勢を身につけることであり、そのためには各学部で行っている専門教育と連動していくことが第一でしょう」。

本学にはWAKUWAKUときめき専修21(就職部)、ベンチャービジネスコンテスト(学生部)、HEIB講座(エクステンションセンター)といったキャリア教育にふさわしい講座がすでに定着している。「これらの企画を生かしながら、全学でキャリア教育の理念を共有していきたい」と構想を描く。

また、職業観育成の実地訓練となるインターンシップ制度の拡充も「単位認定を含め、より効果的に取り組む必要があります」。

長年務めた一部の学生部長時代、ベンチャービジネスコンテストなどを創設。キャリア教育の重要性をかねがね訴え、学生支援への強い思いを内に秘める。

主体的に学生生活を送るためにどういった心構えが必要なのか——。「将来の自分の仕事に志を持つことです。日本が経済システムの大転換を余儀なくされている厳しい時代だからこそ、可能性がありチャンスが転がっている。現状を前向きに捉え、高い志を持ってチャレンジしてほしいですね」。

川崎市のビジネス・コンテストで受賞

小芝道博さん(05年商学部卒)
鈴木貴広さん(同大学院修士課程修了)

商学部を卒業した小芝道博さんと、大学院経済学研究科修士課程を修了した鈴木貴広さん(いずれも今年3月)が、専大ベンチャービジネスコンテスト入賞(2月号既報)をきっかけに、川崎市のビジネスコンテストで各賞をゲットした。

小芝さんは第31回「かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場」(川崎市・川崎市産業振興財団主催)に応募した。専大のコンテストで「鳳賞」に輝いた「LOWRIDER BICYCLEの販売戦略」で、「かわさきビジネス・アイデアシーズ賞」と「KSP創業支

援賞」をW受賞した。同企

画は環境にやさしく、低価格な「自転車」の開発アイデアで、すでに生産・販売の準備に着手。法人設立も進行中という。

一方、鈴木さんは、前記オーディションの一環として毎年大学生を対象に行われている「大学発ビジネスプラン・コンペかわさき2005」に応募。専大のコンテストでは「映画を楽しむ、会話を覚える。映会話ビジネス」で入賞したが、選考会には「民族家庭料理の留学生派遣サービス」を提出し、優秀賞に輝いた。同企画は、現在鈴木さんたちが行っている「(韓国・中国)留学生の語学家庭教師派遣」を活用。語学と同時に、民族料理を手ほどきしようというものだ。「楽しみながら言葉の背景にある食、習慣、歴史などを知ってもらえればと思い、企画しました」と話している。

「専大ベンチャービジネスコンテスト」は、実社会でのビジネスに発展させ、未来を開くチャンスになっている。皆さんもぜひ「アイデア」を形にして応募してみよう。

★05年コンテストの詳細は決定次第掲載します。



商学部 首藤ゼミ

「日経STOCKリーグ」 レポートコンテストで入選 生きた経済を学ぶ

財務情報分析を専門とする、首藤昭信商学部助教授のゼミ生2チームが「第5回日経STOCKリーグ」レポートコンテストで初出場ながら見事入選した(実施は昨年度)。

同コンテストはバーチャル株式の体験学習、自主テーマによるポートフォリオ学習を行った後、8000字のレポートにまとめるもの。

現在4年次のメンバーは、「意見の食い違いから激しい議論になったこともあったが、そのお陰でまとまった」、「データ収集が大変だった。早く準備をしておけば、と反省」、「就職活動で『学生時代に頑張ったこと』としてアピールすることが出来た」などと、感想を話してくれた。

首藤助教授は「ゼミでは自主性を尊重し、意見を自発的に述べられるよう心がけています。レポート完成の時点で、自信を身につけてくれたことが印象的でした。将来像にも影響したようで、半数以上が金融機関から内定をもらい、今年度参加する後輩たちにも好影響を与えてくれています」と語っている。

※テーマと参加者は次のとおり(順不同/敬称略)

【A班】「明日生きる企業を探せ！ー継続企業安全度ランキングー」清水貴幸・井上聖史・後藤俊明・鈴木愛子・平本益巳

【B班】「開示あれば憂いなし！ーリスク情報開示の効果ー」依田恵理子・中井川和樹・中野さち・松谷稔・若井邦彦

WAKUWAKUときめき
専修21

Brush UPゼミナール



生田キャンパスで開講中

1～3年次生を対象に、熱く語れる大学生活の実現と、人生を戦い抜いていく力の養成を目的とした「WAKUWAKUときめき専修21 Brush UPゼミナール」(就職課主催)が生田キャンパスでスタートした。わくわくヒューマンカンパニー代表取締役の芝原脩次氏が講師を務め、一つのテーマについてグループディスカッションとプレゼンテーションの2回完結方式で取り組む。

4月26日は約50人の学生が出席し、「キックオフ・オリエンテーション」を開催。芝原氏は「大学生活で大切なのは『4年間で何をしたか?』。就職面接で自分が熱く打ち込んだものについて語れるようになってほしい。『今の自分の行動は世の中で通用するのか?』を意識することで社会で通用する常識が身につく。講座を通してそのようなことを意識しながら大学生活を送ってもらいたい」と講座の目的を話した。

◆今後の日程◆

▽5/24・31=今、輝いている人 なぜ「あの人」は注目されているのか

▽6/7・14=あなたは働きますか 働かなければいけないのか、なぜ働くのか

▽6/21・28=魅力ある生き方・格好いい生き方 輝くために大学生活をどう送ればいいのか

▽7/5=フォローアップ・ワークショップ

キャンパス情報

▼学生部

「懸賞論文・文芸作品コンクール」

幅広い能力と個性に期待し、全学生を対象に論文・文芸作品を募集します。

▽提出期間=9/20(火)～27(火)

▽発表=11/7(月)

▽表彰=鳳賞各1点賞金20万円、優秀賞各数点賞金5万円、佳作賞各数点2万

▽提出・問い合わせ先=学生生活課・二部事務課(詳細はホームページで)

▼学生相談室

「ティーアワー」

日ごろ講義を通してしか会えない先生と、お茶を飲みながら歓談するひと時。お弁当持参でどうぞ。

【神田=12時15分～55分、1号館2階学生相談室】

▽6/6(月)『法学再入門—1年で法律が嫌いになった諸君に—』(家永登法学部助教授)

【生田=12時15分～55分、4号館1階学生相談室】

▽6/2(木)『成功する留学—準備・留学中・帰国後にすべきこと—』(仲川裕里経済学部助教授)

▽6/9(木)『「資格」取得の意義を考えよう』(荻原幸子経営学部助教授)

▽6/30(木)『夢について』(高田夏子文学部助教授)

▼第38回青衿祭

連合県人会主催の新入生歓迎イベント「第38回青衿祭」(実行委員長=大楽淑恵さん・経営4)が6月4日(土)、16時30分から(入場は16時)、渋谷公会堂で開催される。有志によるアトラクション、「Jackson vibe」のライブの2部構成。専大の新入生は無料(学生証を

持参)。2年次生以上は前売り2000円、当日2500円。

【ニュース専修2005年5月号14面】